

Modernist Metal Artist — Senroku Kitahara Exhibition

2017年2月21日(火)～3月26日(日)

休館日 = 月曜日(但し、3/20(月・祝)閉館、翌3/21(火)休館)

開館時間 = 9:30～19:00(但し日曜日は17:00閉館) / 入室は閉館30分前まで

入場料 = 一般800円[640円] / 大学生500円[400円] / 高校生以下無料

* []内は前売及び20名以上の団体料金

* 前売チケットは、高松市美術館1階受付、高松市役所生協、ゆめタウン高松サービスカウンター、
宮脇書店本店及び南本店にて2/20(月)まで販売

* 身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料

主催 = 高松市美術館 共催 = 四国新聞社 助成 = 財団法人自治総合センター

モダニズムの金工家

北原千鹿展



TAKAMATSU
高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM
〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4
TEL:087-823-1711 FAX:087-851-7250

《鹿文金彩花瓶》1936年 高松市美術館蔵



Modernist Metal Artist — Senroku Kitahara Exhibition

高松市美術館の収集方針のひとつに「香川美術(漆芸・金工)」がありますが、その金工コレクションの中核をなす作家として、高松出身の工芸家・北原千鹿(きたはら せんろく) (1887-1951)の存在があげられます。千鹿は1926(大正15)年、高村豊周(たかむら とよちか)らと新しい工芸美術をめざしたグループ「无形(むけい)」を結成、翌1927(昭和2)年には大須賀喬(おおすが たかし)、鴨政雄(かも まさお)ら同郷の若手工芸家たちと「工人社」を結成し、昭和初期の旧態依然とした工芸界に新風を吹き込みました。

本展では、近代日本工芸史に大きな足跡を残した北原千鹿の初期から晩年に至る代表作や貴重な下図等約80点をご紹介します、卓抜な彫金技法と豊かな造形感覚を駆使した千鹿作品の魅力に迫ります。

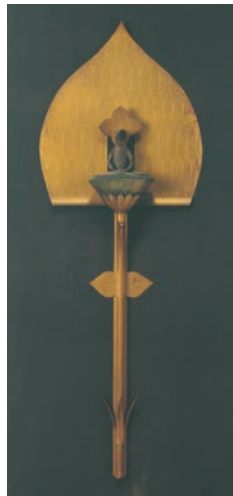
●作家略歴 北原千鹿(きたはらせんろく) (1887~1951)

1887(明治20)年愛媛県香川郡高松旅籠町(現・高松市中央町)に生まれる。香川県工芸学校(現・香川県立高松工芸高等学校)金属彫刻科を経て、東京美術学校(現・東京藝術大学)金工科を卒業。

1926(大正15)年高村豊周らと「无形(むけい)」を結成、翌1927(昭和2)年第8回帝展で《置物 花の折枝》で特選となり、同年「工人社」を主宰するなど、時代に生きる自由な工芸を掲げ作品を制作した。帝展では1928年(昭和3)年にも《羊置物》で特選、その翌年《置物 兜》を出品して推薦となるほか、新文展でも審査員等を歴任した。



北原千鹿の肖像写真



《蛙壁掛》1934年 香川県立高松工芸高等学校蔵

モダニズムの金工家 北原千鹿展



《葡萄文水差》1923年 高松市美術館蔵



《観音像》香川県立ミュージアム蔵



《多宝塔出現》1911年 東京藝術大学大学美術館蔵



《置物 兜》1929年 京都国立近代美術館蔵



《置物 花の折枝》1927年 個人蔵



《夏の山草金彩壺》1937年 高松市美術館蔵

関連イベント お問合せ・お申込みは美術館(087-823-1711)まで

- 記念講演会「昭和の工芸をつくった偉人—北原千鹿」
2月25日(土)14:00~15:30/1階講堂にて/先着150人/無料
講師:樋田豊次郎(東京都庭園美術館館長)
- ギャラリートーク(展示解説)
学芸員:3月4日(土)14:15~/2階展示室にて/観覧券が必要
ボランティア:会期中の日曜・祝日11:00~、14:00~
- 「伝統から未来へ繋ぐコンサート」
3月4日(土)13:30~14:00/1階エントランスホール
出演:青木香瑛(箏)、木村園代(三絃、箏)、松本恵(箏、十七弦)、西森敬二(尺八)/演奏曲:「光のしづく」「沙羅の花」他/無料
- ワークショップ「彫金でペンダントを作ろう!」
3月5日(日)13:00~16:00
講師:山下晴義(金工家)/3階講座室にて/対象:小学5年生以上/先着20人(2月15日8:30~電話申込)
受講料500円、材料費は別途
内容:彫金を使ってペンダントトップを作ります。
- 友の会スペシャル・イベント ワークショップ
3月18日(土)13:00~16:00
講師:山下晴義(金工家)/3階講座室にて/対象:小学5年生以上/先着20人(3月1日8:30~電話申込)
受講料500円(会員は無料)、材料費は別途
内容:フレームに銅版を入れてオリジナルフォトフレームを作ります。
- 番外編アートで遊ぼう!(子ども鑑賞プログラム)
3月25日(土)9:30~11:00/3階講座室にて/対象:小学生(3月1日8:30~電話申込)/無料/内容:作品をスケッチしてモビールを作ります。

その他の情報として

- 館長講座「まぶさび教室~現代における美への問いかけ」
講師:篠原資明(高松市美術館館長)/3月4日(土)/11:00~12:00/対象:高校生以上/1階講堂/無料(要電話申込)
- コミュニケーションデザイン・ワークショップ
①「ありがとうを伝えるカード」
3月11日(土)10:00~12:00
講師:モーネ工房/1階講堂にて/対象:中学生~大人/先着30人(2月15日8:30~電話申込)
受講料500円、材料費500円
内容:普段の生活に活かせる、お礼状のようなカードを作ります。
②「[よきよき木のカレンダー」
3月11日(土)13:30~15:30
講師:モーネ工房/中2階にて/対象:未就学児~小学生(ハサミが使える子、未就学児は保護者同伴)/先着30人(2月15日8:30~電話申込)
受講料500円
内容:段ボールに切り紙で木を描いて、大きなカレンダーを作ります。
- 第5期常設展
1月5日(木)~3月26日(日)
※但し、常設展示室1において、3/15~3/26の期間、「第34回日本伝統漆芸展」開催
- 高松市美術館・高松市塩江美術館共通定期観覧券(年間パスポート)
共通定期観覧券3,000円(65歳以上1,500円)/発行日から1年間両館主催の特別展、常設展を何度でもご覧いただけます。
- 高松市美術館サポートショップ
美術館周辺のサポートショップへ特別展の半券を持って行くと、お得な特典が受けられます。*特別展会期中のみ



《交通のご案内・周辺略図》
JR 四国—JR高松駅下車、南へ徒歩約15分
ことでん—瓦町駅、片原町駅下車、徒歩約10分
バス路線—(ショッピング・レインボー循環バス)紺屋町バス停下車、徒歩約2分 (まちバス)丸亀町参番街下車、徒歩約3分 (高速バス)県庁通り下車 徒歩約8分
駐車場—美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4
TEL:087-823-1711 FAX:087-851-7250